

2025年度 解答速報

早稲田佐賀中学校入試【国語】

2025年 1月13日実施

国語

- 一 問1 理想の自分へ「成長」しようともがく 問2 ウ 問3 エ
問4 (例) 未来の自分を学校空間が強制し決めるから。 問5 未知を読む(場合。) 問6 B 問7 ウ
問8 (例) 既知の内容が書かれた文章を読むことで、わかりやすさとおもしろさを感じる読書。
問9 ア ○ イ × ウ × エ ○ オ ○ カ ×
- 二 問1 A ウ B オ 問2 オ 問3 わざとカズくんの嫌いなものを選んだんじゃないかなあ
問4 ウ 問5 ア 問6 イ 問7 オ
問8 (例) 母が、ミツルの言ったことをうのみにし、カズキがじょうろの場所を変えたと思い、より冷たい態度をとる(こと。)
- 三 問1 ① ア 勤(める) イ 務(める) ② ア 納(める) イ 治(める)
問2 ① しゅうち ② ふんべつ 問3 ① イ ② ア ③ ア
問4 ① イ ② ア ③ ウ 問5 ① ア ② イ ③ イ
問6 (1) 1、2、5 (2) 線 (3) ア (4) イ (5) イ

【講評】

大問1は石原千秋『未来形の読書術』外山滋比古『読書の方法』からの出題で、どちらも説明的文章であった。問2の記号選択は紛らわしかった。また、問9はそれぞれの文章内容を把握せねばならず難しかった。大問2は重松清『海まで』からの出題で文学的文章であった。年下の孫を露骨にひいきし上の孫に冷たく接する祖母と、その祖母の息子である主人公とのやり取りの場面であった。文章も読みやすく、設問も比較的取り組みやすかった。大問3は知識事項(漢字・慣用表現の本来の意味・四字熟語・敬語)と佐々木瑞枝『日本語ってどんな言葉?』からの出題で、これも説明的文章であった。「継続動詞」と「瞬間動詞」という視点で『間』と『間に』の使い分けを説明している興味深い内容であった。知識事項は、「分別」の読み、「枯れ木も山のにぎわい」の誤用はやや難しかったと思われる。全体として、難易度は例年並みだと思われる。